

2024 春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.1 中央集会 主催者代表あいさつ

会場いっぱいにご参集いただいた皆さん、さらには、WEB参加の皆さん、大変お疲れさまです。

はじめに、あらためて、1日1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々へ哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。2か月が経過したいまもなお、多くの方々が不自由な避難所生活を余儀なくされています。

現地での復旧・復興作業、あるいは全国各地でのカンパ活動など、被災地支援にご尽力いただいているすべての皆様に、心より敬意を表します。

引き続き、連合一体となって支援活動に取り組むとともに、2024 闘争で経済の好循環を実現することにより、一日も早い復旧・復興を全力で後押ししていきます。

さて、本日は、この集会の前段に、構成組織、連合東京の皆さんと、有楽町マリオン前の街宣で、持続的な賃上げの必要性を訴えてきました。足を止めてくださる方もみられ、多くの皆さんの賃上げへの期待がひしひしと伝わってきました。

「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」このスローガンのもと、2月から順次、多くの組合が要求書を提出し、交渉を展開しています。皆さんの連日のご奮闘に心から敬意を表します。先行組合は3月12～14日のヤマ場を目前に控え、交渉の大詰めを迎えた今がまさに踏ん張りどころです。

私たちの暮らしは厳しさを増しており、個人消費の拡大には物価を上回る賃上げが不可欠です。必要な人材を確保し、現場のモチベーション向上、生産性向上につなげるためには、昨年を上回る賃上げを実現しなければなりません。

私たち働く者の思いを経営側に真摯にぶつけ、組合員の総意で確立した要求の実現に向けて、粘り強く闘っていきましょう。

賃上げの流れを、いかにすべての働く仲間に波及させることができるのか。今年ほど、労使の社会的責任が問われる年はありません。ポイントは、「価格転嫁」「価格交渉」「環境整備」です。「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を絵に描いた餅にするわけにはいきません。

大手企業は能動的に価格転嫁に努め、中小企業は遠慮せずに価格交渉を申し入れましょう。連合は、引き続き、地方版政労使会議なども通じ、政府にその環境整備を強く求めています。より良い商品・サービスに適切な価格でこたえることで、働きの価値を高めていく。私たち自身の消費者マインドも変えていかなければなりません。

雇用形態間、男女間の賃金格差の背景にあるジェンダー平等の推進も課題です。女性はもちろん、誰もが自分らしく能力を発揮できる多様性こそ、イノベーションには不可欠です。私は、長時間労働を前提とした働き方を見直し、男女がともに家庭とキャリアの両立をはかることのできる社会を実現したい。私たち労働組合には、職場を変える、社会を変える力があると信じています。

今次闘争は、政労使が同じ方向感を共有しているとは言え、最終的には労使間の交渉結果の積み重ねが全体の結果を左右することは言うまでもありません。労働組合のある職場で働く私たちがしっかりと答えをだすことで、労働組合のない職場で働く労働者の賃上げにも波及させていきましょう。

いよいよヤマ場を迎える 2024 闘争は、長年にわたるわが国のデフレマインドを完全に払しょくし、新たな経済社会へとステージ転換をはかる正念場です。

掲げた要求に対する確信を深め、みんなで団結して最後の最後まで粘り強く闘い抜くことを誓い合い、ともに頑張りましょう！

ありがとうございました。

以 上